

学校だより

小倉小学校

2月号

平成30年2月1日

厳冬に心あたためて

学校長 西本和広

例年になく、強い寒波が日本列島を襲い、各地で降雪や低温の被害が出ています。また、インフルエンザも記録的な流行となり、本校でも学級閉鎖を余儀なくされるクラスが出ています。

小倉地区は、和歌山市の中でも内陸部にあたり、また、市街地でもないために、同じ和歌山市の中でも、気温は低いと思われます。実際に、私も、朝、学校に来るときに、小倉地区に近づくほどに屋根が白かったり、水たまりが凍っていたりという景色に出会います。

しかし、寒さの中、「おはようございます」とあいさつをして、校門に入っていく子ども達を見て、寒さも和らぐ気持ちになります。また、寒い中、冷たい水で雑巾を絞って掃除を頑張っている子どもたちを見ると、その手を握ってあたためてあげたくくなります。寒い日も、子ども達の元気な姿に、心があたためられる気がします。

さて、いよいよ冬のオリンピックが韓国・平昌で開幕します。和歌山は温暖な地で、雪が降ったり、ましてや積もったりすることは大変稀です。ですから、冬の競技といっても、テレビなど目にするのがあっても、さほどなじみがあるわけではありません。しかし、今回のオリンピックに和歌山市出身の選手が出場するというニュースが先日流れました。フリースタイルスキー・エアリアル田原直哉選手がその人です。元々有望な体操選手でアテネオリンピックを目指していましたが、ケガもあって体操を断念、その後、エアリアル競技に転向し、全くの初心者から世界のトップ選手にまで登りつめたということです。どうしてもオリンピックに出たいという思いで、様々な困難に打ち勝って選手としては高齢の37歳で夢をつかみました。是非とも応援したい選手です。

よく2月は、「逃げる」といわれます。短い3学期の中でも、とりわけ短いのがこの2月です。とは言え、最後の授業参観、「6年生を送る集会」、6年生のお別れ遠足など、1年をしめくくる様々な行事があります。

6年生は、卒業に向け、強く確かな「節目」を作ろうとがんばっています。5年生は、最高学年のバトンを受け継ぎ、立派に責任を果たそうと張り切っています。4年生は、いよいよ高学年の仲間入り。3年生は、中学年のリーダーとして活躍しなければなりません。2年生は中学年へ。1年生は、もうすぐ新しい1年生を迎えるお兄さん、お姉さんになります。この短い2月を有意義に過ごし、新しい学年の準備をしっかりとっていく充実した2月にしていきたいと考えます。



2月の予定

- 1日(木) 登校指導、学校保健安全委員会
- 2日(金) フォローアップ教室
- 3日(土) 土曜教室
- 3日(土)、4日(日) 学校美術展(マリーナシティ)
- 5日(月) 生活点検(ドラドラ週間)
- 6日(火) 租税教室(6年)
- 7日(水) 委員会活動、スクールカウンセラー小倉保育所交流(1年)
- 8日(木) 禁煙教室(6年)
- 9日(金) フォローアップ教室 生命の学習(2年)
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 14日(水) クラブ活動、健康相談
- 15日(木) 新入児説明会
- 16日(金) フォローアップ教室
- 17日(土) 育友会ウォークラリー
- 19日(月) 絵本読み聞かせ(昼休憩)
- 20日(火) 授業参観・学級懇談会
- 21日(水) クラブ活動、スクールカウンセラー
- 22日(木) ゲストティーチャー(6年)
- 23日(金) お別れ遠足(6年)
- 24日(土) 子どもセンター行事
- 26日(月) スクールカウンセラー、ALT
- 27日(火) わうくらす(5年)
- 28日(水) 6年生を送る会



インフルエンザについて

今年は、インフルエンザが大変流行しています。予防には、各ご家庭でも十分にご留意ください。インフルエンザによる欠席は、病欠ではなく、出席停止扱いとなります。流行期間中のため、医師の診断書を提出していただく必要はありません。「インフルエンザによる欠席届」を、担任までご提出下さい。なお、欠席届は学校ホームページからダウンロードできますので、ご利用ください。

ゲストティーチャー

2月9日(金)には、助産師の安宅満美子さんを招いて、2年生に「生命の誕生」の授業を行います。子どもたちが実際にお母さんのおなかの中にいた時の疑似体験を行って、一人一人がかげがえのない命を持っていることを学びます。

2月22日(木)には、「車いすの元気配達人」柳岡克子さんを招いて、障害に負けずに歩んだ経験を明るく、楽しく語っていただき、中学校生活への応援のメッセージを頂く会を行います。

いずれも、保護者の皆様のご参観は可能ですので、ご都合がよろしければ学校までお越しください。(2、6年以外の保護者の参観も大歓迎です)

季節の詩

白樺の幹はしろくて、月の夜の風にひかるよ。
お手々うて、窓のこどもよ。
白樺の幹はしろいよ。

朴の葉のかげはひろくて、月の夜の土にゆれるよ。
お手々うて、そこのこどもよ、
朴の葉のかげはひろいよ。

(山の月夜 北原白秋)

